

三重県がん対策推進計画
(第 4 期三重県がん対策戦略プラン)

年次報告書 (令和 4 年度)

三重県医療保健部医療政策課

目 次

1 がん予防

- (1) がんの1次予防の推進 1
- (2) がんの早期発見の推進（2次予防） 6
- (3) がんの教育・県民運動 8

2 がん医療の充実

- (1) 医療機関の整備と医療連携体制の構築、医科歯科連携の推進 10
- (2) 手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法のさらなる充実と
チーム医療の推進 14
- (3) 小児がん、AYA世代のがん対策 16
- (4) がん登録の推進 17

3 がんとの共生

- (1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進 20
- (2) 相談支援および情報提供の充実 22
- (3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援、在宅医療の推進 23
- (4) がん患者の就労支援を含めた社会的な問題 24
- (5) ライフステージに応じたがん対策 24

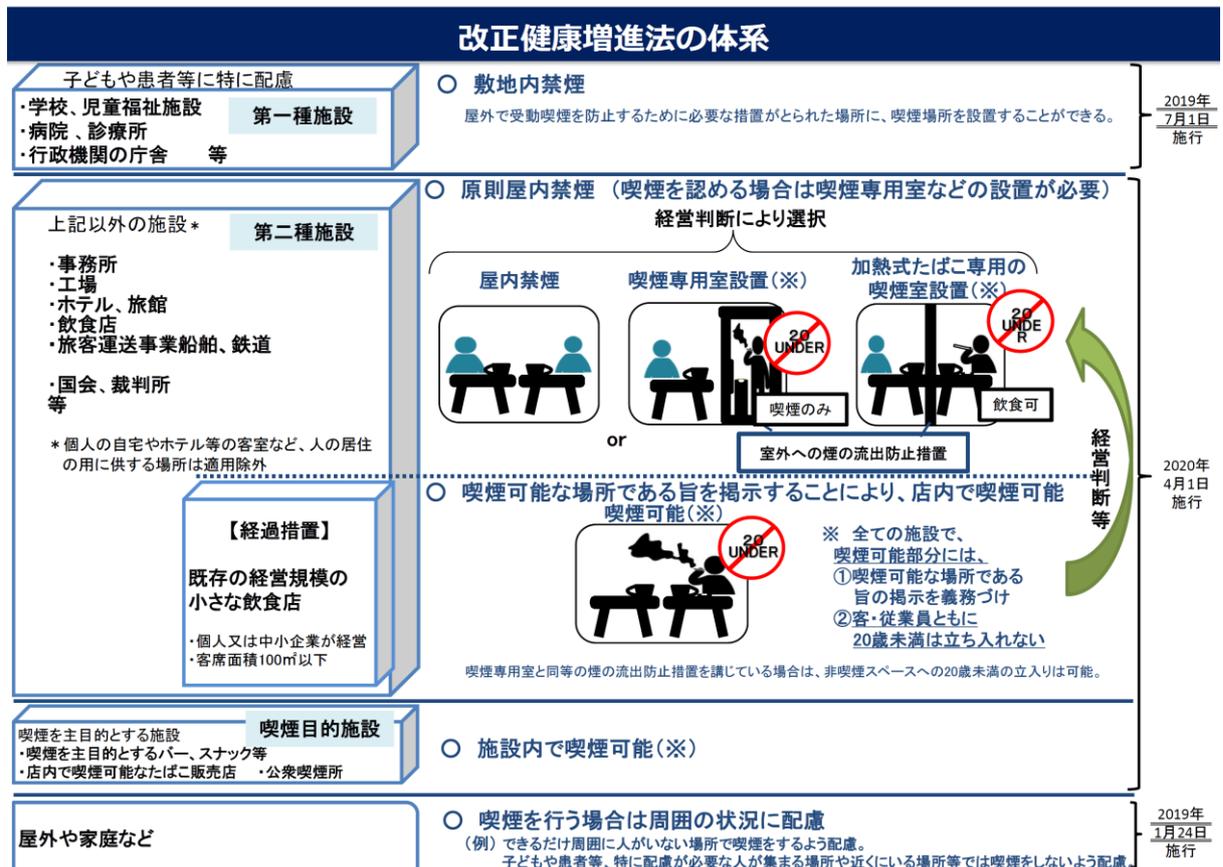
1 がん予防

(1) がんの1次予防の推進

① 喫煙防止

＜令和4年度の主な取組＞

- ・ 5月31日の世界禁煙デー等において、たばこが健康に及ぼす影響について啓発を実施しました。
- ・ 受動喫煙防止対策の一環として、「たばこの煙の無いお店」の認定を行っています。令和5年3月末までに延べ601店舗を認定し、県のホームページなどで紹介しました。
- ・ 改正健康増進法に基づき、望まない受動喫煙が生じないように、県民への啓発や施設管理者への助言・指導等を行いました。



(指標進捗状況)

成人の喫煙率 : 12.0%

	策定時 H28 年調査	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	17.7%	未実施	18.4%	未実施	未実施	15.7%
達成率			65.2%			76.4%

※国民生活基礎調査

未成年者（15～19 歳）の喫煙率 : 0%

	策定時 H28 年度調査	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	男 1.4% 女 0%	未実施	未実施	未実施	未実施	男 0% 女 0%
達成率						100%

※県民健康意識調査

「たばこの煙の無いお店」登録数 : 750 店

	策定時 H28 年度末現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	428 店	504 店	522 店	548 店	571 店	601 店
達成率		91.6%	87.0%	84.3%	81.6%	80.1%

行政機関の敷地内禁煙の実施率 : 県施設 100%、市町施設 100%

	策定時	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
県	—	未実施	未実施	未実施	未実施	100%
市町	—	未実施	未実施	未実施	未実施	100%
達成率						100%

(屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することができる。)

(今後の対応)

- ・ 「世界禁煙デー」や「禁煙週間」、県及び保健所が主催するイベントや研修会等の機会を捉え、禁煙に関する啓発を進めます。
- ・ 引き続き、改正健康増進法の周知を行うとともに、望まない受動喫煙が生じないように、制度の円滑な運用に向け保健所における助言・指導等を行います。

② 生活習慣の改善

<令和 4 年度の主な取組>

- ・ 食生活とがん予防に関する知識の普及のため、健康野菜たっぷり料理グランプリ（ベジー 1 グランプリ）等において、健康的な食生活の実現に向けてバランスのとれた食事に関する啓発を行いました。
- ・ 生活習慣病対策をはじめがん予防を推進するため、「健康づくり応援の店」登録店を通じて県民へ健康づくり情報の発信を行うほか、新規登録店舗数の増加に向け取り組みました。(健康づくり応援の店：累計 439 店舗)

(指標進捗状況)

1 日あたりの平均脂肪エネルギー比率 (30~59 歳) : 25.0%

	策定時 H28 年度調査	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	28.0%	未実施	未実施	未実施	未実施	29.1%*
達成率						

※県民健康・栄養調査

*H29, H30, R1 年国民健康・栄養調査 (三重県分) 3 年分データより算出した参考値

成人 1日あたりの平均食塩摂取量 : 8.0 g

	策定時 H28 年度調査	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	9.7 g	未実施	未実施	未実施	未実施	10.3 g *
達成率						

※県民健康・栄養調査

*H29, H30, R1 年国民健康・栄養調査（三重県分）3 年分データより算出した参考値

成人 1日あたりの平均野菜摂取量 : 350 g

	策定時 H28 年度調査	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	244 g	未実施	未実施	未実施	未実施	278g *
達成率						

※県民健康・栄養調査

*H29, H30, R1 年国民健康・栄養調査（三重県分）3 年分データより算出した参考値

肥満の人の割合（30～49 歳男性） : 29.0%

	策定時 H28 年度調査	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	28.7%	未実施	未実施	未実施	未実施	34.8%*
達成率						

※県民健康・栄養調査

*H29, H30, R1 年国民健康・栄養調査（三重県分）3 年分データより算出した参考値

運動習慣者の割合 : 男性 45.0%、女性 37.0%

	策定時 H28 年度調査	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	男 38.7% 女 30.9%	未実施	未実施	未実施	未実施	男 44.9% 女 37.0%
達成率						男 99.0% 女 100%

※県民健康意識調査

(今後の対応)

- ・ 生活習慣病予防を進めることで、がん予防につながることから、引き続き多様な主体と連携し、生活習慣病予防に関する啓発を進めます。

③肝炎対策

<令和4年度の主な取組>

- ・ 肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップや初回精密検査及び定期検査費用の助成を含む重症化予防事業を実施するとともに、インターフェロフリー治療薬の医療費助成など、肝炎ウイルス罹患者の早期発見・早期治療を推進し、肝がん予防の促進に努めました。

(指標進捗状況)

肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率 : 80%

	策定時 H28年度末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	50%	40%	33%	40%	25%	50%
達成率		50%	41%	50%	31%	62.5%

(今後の対応)

- ・ 引き続き、肝炎対策の事業を継続するとともに、肝炎ウイルス検査の必要性や肝炎に関する正しい知識の啓発に努めることにより、肝がん予防を促進します。

(2) がんの早期発見の推進（2次予防）

＜令和4年度の主な取組＞

- ・ 9月のがん征圧月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間等において、がん検診の必要性や早期発見の重要性について啓発を実施しました。
- ・ 市町に対する補助金の交付など、がん検診受診率、精密検査受診率の向上のため市町の取組を支援しました。
- ・ 市町におけるがん検診の精度管理状況の確認及び集団検診実施機関の精度管理を行い、結果を通知するとともに、改善を促しました。
- ・ 市町に対してがん対策に関する相談への対応、各種関連情報の提供等を行いました。
- ・ 各市町におけるがん検診受診率向上施策について、ヒアリング等を通じて直接各市町の取組の成果や課題を把握し、各市町に対する適切な助言を行うとともに、受診率向上に向けた取組を支援しました。

(指標進捗状況)

がん検診受診率 : 50%

三重県 (国)	策定時 H26年度実績	平成30年度 H29年度実績	令和元年度 H30年度実績	令和2年度 R元年度実績	令和3年度 R2年度実績	令和4年度 R3年度実績
乳がん	37.8% (26.1%)	41.1%	40.0%	40.8%	38.3%	36.5%
子宮頸がん	54.2% (32.0%)	47.8%	43.4%	44.3%	42.2%	41.3%
大腸がん	30.0% (19.2%)	26.8%	25.1%	24.0%	21.7%	21.8%
胃がん	9.8% (9.3%)	28.7%	26.5%	24.8%	16.6%	15.5%
肺がん	23.0% (16.1%)	23.4%	22.1%	21.0%	18.9%	18.8%

※地域保健・健康増進事業報告

- ・ 対象年齢：40（子宮頸がんは20、胃がんは50）歳～69歳
- ・ 平成27年度より、がん検診の対象者の計上方法が変更となったため、実績は県独自集計（試算値）

(参考) 令和4年国民生活基礎調査によるがん検診受診率

	全国	三重県
乳がん	47.4%	51.5%
子宮がん	43.6%	47.0%
大腸がん	45.9%	45.8%
胃がん	42.1%	41.0%
肺がん	49.7%	48.6%

※3年に一度の調査であり、全都道府県の各地域を無作為に抽出。

精密検査受診率 : 90%

三重県 (国)	策定時 H25年度実績	平成30年度 H28年度実績	令和元年度 H29年度実績	令和2年度 H30年度実績	令和3年度 R元年度実績	令和4年度 R2年度実績
乳がん	79.7% (84.9%)	75.7% (87.8%)	72.2% (88.8%)	82.7% (89.2%)	86.7% (89.5%)	75.8% (90.1%)
子宮頸 がん	63.1% (70.5%)	72.3% (75.4%)	70.3% (75.2%)	70.6% (75.0%)	76.8% (74.8%)	77.9% (76.7%)
大腸 がん	62.4% (67.4%)	66.0% (70.6%)	64.7% (70.7%)	62.7% (71.4%)	63.8% (71.1%)	63.7% (71.4%)
胃がん	69.2% (80.7%)	65.0%※1 (80.7%) 94.5%※2 (83.9%)	72.7%※1 (81.0%) 84.1%※2 (92.0%)	72.9%※1 (82.2%) 82.8%※2 (92.9%)	71.9%※1 (80.8%) 95.8%※2 (93.9%)	71.9%※1 (81.2%) 94.7%※2 (92.8%)
肺がん	65.3% (79.2%)	74.5% (83.0%)	74.2% (83.5%)	76.3% (83.8%)	83.3% (83.7%)	86.4% (83.4%)

※地域保健・健康増進事業報告

・対象年齢：40（子宮頸がんは20）歳～74歳

※1 検査方法：胃部エックス線検査（40歳～74歳）

※2 検査方法：胃内視鏡検査（50歳～74歳）

・平成28年度からがん検診の実施内容の一部が以下のとおり変更

胃部エックス線検査（40歳以上、年1回）

⇒胃部エックス線検査（40歳以上、年1回）又は胃内視鏡検査（50歳以上、2年に1回）

(今後の対応)

- ・ 多様な主体と連携しながら、受診率の向上に向け取り組みを行っています。指標である地域保健・健康増進事業報告における受診率は、概ね横ばいの傾向にあるため、引き続き、がん検診の重要性について啓発するとともに、効果的な受診勧奨等について市町を支援します。
- ・ がんの早期発見・早期治療のためには、がん検診の精度管理が重要です。市町におけるがん検診の適切な実施のための働きかけや、精密検査受診率の向上に向けた取組への支援など、がん検診の精度向上を進めます。
- ・ 受診率向上に効果的であるナッジ理論に基づく受診勧奨について、より効果的に受診率向上に繋げるため、モデル市町における対象者の受診動向に関する分析事業を行います。また、分析結果は全市町に共有し、モデル市町以外においても分析結果を踏まえた効果的な受診勧奨を実施できるよう支援します。
- ・ 各市町における受診率向上に向けた取組に対し、専門的な知見からのアドバイスを実施するため、ナッジ理論等のソーシャルマーケティングを活用した相談窓口を設置します。

(3) がんの教育・県民運動

<令和4年度の主な取組>

- ・ 子どもの頃からがんに関する正しい知識を得ることができるよう、教育委員会と連携し、外部講師を活用したがん教育の取組を、7校（小学校：2校、中学校：5校）で実施しました。
- ・ 企業における健康経営の取組を推進する「三重とこわか健康経営カンパニー認定制度」及び「三重とこわか健康経営大賞」において、がん検診やがんの治療と仕事の両立支援に関する評価項目を設け、企業に対する普及啓発を進めました。

(指標進捗状況)

小・中学校におけるがん教育の実施回数 : 76校

	策定時 H28年度末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県 (累積)	16校	37校	52校	61校	67校	74校
目標値 (累積)		36校	46校	56校	66校	76校
達成率		102.8%	113.0%	108.9%	101.5%	97.4%

(今後の対応)

- 学習指導要領の改訂によってがん教育が全面実施（令和2年度小学校、令和3年度中学校、令和4年度高等学校）されたことをふまえ、各学校における外部講師を活用したがん教育の実施体制の整備に向けて、県教育委員会と連携した取組を進めます。

2 がん医療の充実

(1) 医療機関の整備と医療連携体制の構築、医科歯科連携の推進

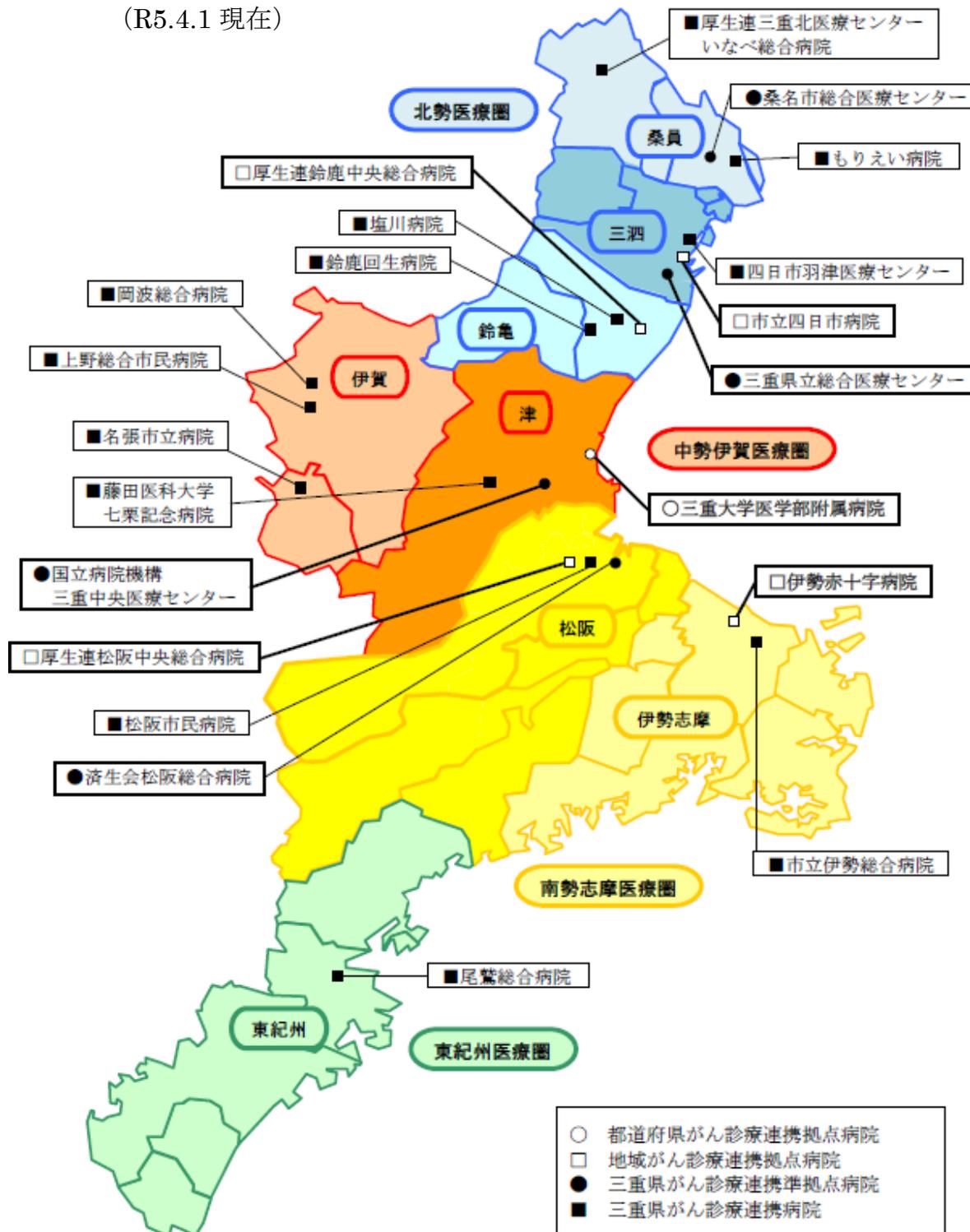
<令和4年度の主な取組>

- ・ 三重県がん診療連携準拠点病院について、桑名市総合医療センターを新たに指定しました。
- ・ がん医療に携わる医療機関に対して施設・設備整備等に係る補助を行い、県内のがん医療提供体制の整備を推進しました。
- ・ 歯科医師等を対象にがん患者の医科歯科連携に関する研修を行い、手術前後や在宅等における歯科治療および口腔ケアに関する知識の普及を図りました。

県内のがん診療連携に係る病院 (R5. 4. 1 現在)

医療圏	構想区域	国指定		県指定
		がん診療連携 拠点病院	三重県がん診療連携 準拠点病院	三重県がん診療 連携病院
北勢	桑員		1 か所	2 か所
	三泗	(地域) 1 か所	1 か所	1 か所
	鈴亀	(地域) 1 か所		2 か所
中勢	津	(県) 1 か所	1 か所	1 か所
	伊賀			3 か所
南勢志摩	伊勢志摩	(地域) 1 か所		1 か所
	松阪	(地域) 1 か所	1 か所	1 か所
東紀州				1 か所
		5 か所	4 か所	1 2 か所

県内のがん診療連携に係る病院
(R5.4.1 現在)



(指標進捗状況)

がんによる年齢調整死亡率(75歳未満) : 全国平均より10%以上低い状態

	策定時 H28年 実績	平成30年度 H29年実績	令和元年度 H30年実績	令和2年度 R元年実績	令和3年度 R2年実績	令和4年度 R3年実績
全国平均	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4
目標値	68.5	66.2	64.4	63.0	62.6	60.7
三重県	69.0	67.4	64.1	64.3	66.7	61.2
達成率		98.2%	100.5%	98.0%	93.9%	99.2%

※国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

三重医療安心ネットワークへの登録患者数 : 22,400人

	策定時 H28年度末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	14,069人	19,610人	23,277人	25,124人	27,502人	29,292人
目標値		16,800人	18,200人	19,600人	21,000人	22,400人
達成率		116.7%	127.9%	128.2%	130.9%	130.8%

拠点病院・準拠点病院の指定数 : 10病院

	策定時 H28年度末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	6病院	7病院	7病院	8病院	8病院	9病院
達成率		70.0%	70.0%	80.0%	80.0%	90.0%

全国共通がん医科歯科連携講習会を受講し、手術前患者を対象とした歯科治療と口腔ケアについての知識を習得した歯科医師数 : 318人

	策定時 H28年度末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県 (累積)	268人	280人	279人	280人	273人	268人
目標値 (累積)		278人	288人	298人	308人	318人
達成率		100.7%	96.9%	94.0%	88.6%	84.3%

全国共通がん医科歯科連携講習会を受講し、終末期・在宅がん患者を対象とした歯科治療と口腔ケアについての知識を習得した歯科医師数 : 193人

	策定時 H28年度末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県 (累積)	143人	152人	153人	155人	150人	143人
目標値 (累積)		153人	163人	173人	183人	193人
達成率		99.3%	93.9%	89.6%	82.0%	74.1%

三重県がんリハビリテーション研修会実行委員会によるがんリハビリテーション研修会の開催回数 : 9回

	策定時 H28年度末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県 (累積)	3回	5回	6回	6回	7回	8回
目標値 (累積)		5回	6回	7回	8回	9回
達成率		100.0%	100.0%	85.7%	87.5%	88.9%

(今後の対応)

- ・ 拠点・準拠点の指定地域は拡大しましたが、引き続き拠点病院、準拠点病院の指定のない地域におけるがん医療連携体制について検討を進めます。

(2) 手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法のさらなる充実とチーム医療の推進

＜令和4年度の主な取組＞

- ・ 拠点病院および準拠点病院において、放射線療法、薬物療法、手術療法等を組み合わせた集学的治療を推進するため、専門資格を有する医師や看護師、薬剤師等の配置に向け、働きかけを行いました。
- ・ 三重県がん診療連携協議会看護部会と連携し、がんにおける質の高い看護師育成研修を実施し、充実した看護ケアの提供ができる臨床実践能力の高い看護師の育成を進めました。

(指標進捗状況)

拠点病院・準拠点病院におけるチーム医療体制の整備数 : 10 病院

	策定時 H28年9.1現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	6病院	7病院	7病院	8病院	8病院	9病院
達成率		70.0%	70.0%	80.0%	80.0%	90.0%

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本放射線腫瘍学会が認定する

放射線治療専門医数 : 10 病院 10 人

	策定時 H28年9.1 現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	4病院9人	6病院9人	7病院11人	7病院11人	4病院9人	7病院13人

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本臨床腫瘍学会が認定する
がん薬物療法専門医数 : 10 病院 10 人

	策定時 H28 年 9.1 現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	4 病院 7 人	3 病院 7 人	4 病院 9 人	4 病院 11 人	5 病院 11 人	6 病院 15 人

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本がん治療認定医機構が認定する
がん治療認定医数 : 10 病院 100 人

	策定時 H28 年 9.1 現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	6 病院 71 人	7 病院 74 人	7 病院 86 人	8 病院 90 人	8 病院 96 人	9 病院 110 人

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院の外来化学療法室等における日本医療薬学会が認定する
がん専門薬剤師数 : 10 病院 10 人

	策定時 H28 年 9.1 現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	2 病院 5 人	2 病院 4 人	2 病院 6 人	2 病院 8 人	2 病院 8 人	3 病院 9 人

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本看護協会が認定する専門看護師（がん看護）数。また、日本看護協会が認定する認定看護師（がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、乳がん看護、がん放射線療法看護）数：**専門看護師 10 病院 10 人、認定看護師 10 病院 50 人**

	策定時 H28 年 9.1 現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	専門看護師 5 病院 6 人 認定看護師 6 病院 23 人	専門看護師 6 病院 9 人 認定看護師 7 病院 23 人	専門看護師 6 病院 8 人 認定看護師 7 病院 24 人	専門看護師 6 病院 8 人 認定看護師 8 病院 28 人	専門看護師 7 病院 9 人 認定看護師 8 病院 27 人	専門看護師 8 病院 10 人 認定看護師 9 病院 33 人

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

（今後の対応）

- ・ 専門資格を有する医師等の配置は徐々に進んでおり、引き続き、拠点病院および準拠点病院への専門資格を有する医師や看護師、薬剤師等の配置に向け、働きかけを行います。

（3）小児がん、AYA世代のがん対策

<令和 4 年度の主な取組>

- ・ 東海北陸ブロック地域小児がん医療提供体制連絡協議会において、広域での小児がんの診療体制や人材育成、相談支援等についての意見交換を行いました。

（指標進捗状況）

三重大学医学部附属病院で育成する日本小児血液・がん学会が認定する
小児血液・がん専門医数：**7 人**

	策定時 H28 年 9.1 現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人	5 人
目標値		5 人	5 人	6 人	6 人	7 人
達成率		80.0%	80.0%	66.7%	66.7%	71.4%

(今後の対応)

- ・ 専門医の数は横ばいであることから、引き続き、県内の小児がん医療提供体制について、小児がん拠点病院である三重大学医学部附属病院と連携して検討を進めます。

(4) がん登録の推進

<令和4年度の主な取組>

- ・ 2016年1月から開始された全国がん登録に基づき、国立がん研究センターから「全国がん登録罹患数・率報告2019年」が公表されました。2019年の三重県のがん罹患数は13,717人(男性7,809人、女性5,908人)、年齢調整罹患率は362.1(全国387.4)でした。
- ・ 医療機関のがん登録担当者に対する全国がん登録研修会について、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、対面からオンラインによる研修へと変更しました。
- ・ 全国がん登録情報の届出を行う指定診療所が、171施設となりました。(令和5年1月1日現在)
- ・ 三重県がん診療連携協議会がん登録部会において、がん登録情報の活用等について協議を行いました。

三重県地域がん登録の状況

登録年	DCN割合※ ₁	DCO割合※ ₂	罹患数
2013	9.7	7.9	12,047 件
2014	8.4	6.3	12,570 件
2015	8.3	6.2	12,739 件

三重県における全国がん登録の状況

登録年	DCI割合※ ₃	DCO割合	患者数
2016	4.8	3.2	14,277 件
2017	2.8	1.4	13,878 件
2018	2.6	1.5	13,913 件
2019	3.2	2.0	13,717 件

※1 Death Certificate Notifications

(死亡診断書により初めてがんを把握)

※2 Death Certificate Only

(死亡診断書以外の情報がない)

※3 Death Certificate Initiated

(遡り調査によりがんの診断が確認できたもの)

精度基準A : DCN20%未満かつDCO10%未満

(指標進捗状況)

がん登録研修会の参加者数 : 681 人

	策定時 H28 年度 実績	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県 (累積)	81 人	205 人	256 人	256 人	339 人	402 人
目標値 (累積)		281 人	381 人	481 人	581 人	681 人
達成率		73.0%	67.2%	53.2%	58.3%	59.0%

(今後の対応)

- ・ がん登録について、年々その精度や登録担当者の理解は向上しています。引き続きがん登録により得られた情報の分析・評価を行うとともに、がん対策の企画立案の基礎データとして活用し、科学的根拠に基づくがん対策を推進します。

3 がんとの共生

(1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

<令和4年度の主な取組>

- ・ 拠点病院等が実施主体となり、医師、看護師等を対象とした緩和ケア研修会が県内9か所で実施されました。
- ・ 三重県がん診療連携協議会緩和ケア部会において、緩和ケア提供体制等について検討を行いました。

県内の緩和ケア病棟を持つ病院

病院名	病床数
もりえい病院（桑名市）	20床
みたき総合病院（四日市市）	30床
鈴鹿中央総合病院（鈴鹿市）	20床
鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院（鈴鹿市）	25床
藤田医科大学七栗記念病院（津市）	20床
松阪市民病院（松阪市）	20床
松阪厚生病院（松阪市）	20床
済生会松阪総合病院（松阪市）	24床
市立伊勢総合病院（伊勢市）	20床
伊勢赤十字病院（伊勢市）	20床
計 9施設	219床

(指標進捗状況)

メディカルスタッフを対象とした緩和ケア研修の実施箇所数 : 10 か所

	策定時 H28 年度 実績	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	8 か所	7 か所	8 か所	3 か所	9 か所	9 か所
達成率		70.0%	80.0%	30.0%	90.0%	90.0%

がん医療に携わる医師の 9 割以上が緩和ケア研修を修了している

拠点病院・準拠点病院数 : 10 病院

	策定時 H29 年.6 月末現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	2 病院	7 病院	7 病院	3 病院	2 病院	2 病院
達成率		70.0%	70.0%	30.0%	20.0%	20.0%

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における緩和医療学会が認定する専門医

または暫定指導医もしくは認定医数 : 10 病院 10 人

	策定時 H28 年 9.1 現在	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	3 病院 3 人	3 病院 3 人	4 病院 4 人	3 病院 3 人	4 病院 5 人	5 病院 13 人

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

(今後の対応)

- ・ がんと診断された時から緩和ケアが適切に提供されるよう、各医療機関において実施される緩和ケア研修を引き続き支援します。

(2) 相談支援および情報提供の充実

<令和4年度の主な取組>

- ・ 県がん相談支援センターにおいて、相談や情報提供を行うとともに、がん患者の療養生活やその家族等を支援するため、セミナーの開催、がん患者・家族間の情報交換、交流の場の提供を目的としたサロンを県内各地域で開催しました。また、サポーター研修を実施し、ピアサポーター等の養成に取り組みました。
- ・ 各がん診療連携拠点病院等の相談員で構成される「三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会」において、相談員の資質向上等について検討を行うとともに、がん相談に関する周知啓発を実施しました。

(指標進捗状況)

地域におけるがんサロンの運営数 : 8か所

	策定時 H28年度 実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	7か所	7か所	7か所	7か所	8か所	8か所
達成率		87.5%	87.5%	87.5%	100%	100%

拠点病院、準拠点病院および三重県がん相談支援センターにおける
国立がん研究センター主催の「相談支援センター相談員基礎研修(3)」の
修了者数 : 31名

	策定時 H28年 9.1現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	17名	29名	32名	34名	36名	49名
達成率		93.5%	103.2%	109.7%	116.1%	158.0%

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会によるがん相談員研修会の
開催回数 : 7回

	策定時 H28年度 実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県 (累積)	1回	3回	3回	3回	4回	5回
目標値 (累積)		3回	4回	5回	6回	7回
達成率		100.0%	75.0%	60.0%	66.7%	71.4%

(今後の対応)

- ・ 医療機関から独立した組織でがん相談を行える機関として、三重県がん相談支援センターにおいて、引き続き、患者とその家族等への相談対応を行うとともに、認知度の向上を図ります。

(3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援、在宅医療の推進

<令和4年度の主な取組>

- ・ 三重医療安心ネットワークの体制整備に係る補助を行い、多職種連携による病病・病診連携体制の整備を推進しました。

(指標進捗状況)

がん患者の在宅(介護老人保健施設、老人ホーム、自宅)死亡割合 : 21.0%

	策定時 H28年 調査	平成30年度 H29年調査	令和元年度 H30年調査	令和2年度 R元年調査	令和3年度 R2年調査	令和4年度 R3年調査
三重県	16.5%	16.5%	18.8%	19.3%	19.2%	29.6%
達成率		78.6%	89.5%	91.9%	91.4%	140.9%

※人口動態調査

(今後の対応)

- ・ 三重医療安心ネットワークへの参加機関の増加にあわせ、登録患者数も増加しています。引き続き、ネットワークへの参加及び利用を促進し、県内の安心・安全かつ切れ目の無い医療提供体制の充実に努めます。

(4) がん患者の就労を含めた社会的な問題

＜令和4年度の主な取組＞

- ・ がんに罹患しても治療と就労の両立を支援するため、社会保険労務士による就労相談を実施するとともに、職場でのがんに関する正しい知識の普及を図るため、事業者に対し、がん患者の就労支援に関する啓発を実施しました。
- ・ 三重労働局により設置された「三重県地域両立支援推進チーム」において、労働局や医療機関、労働関係団体等と連携し、治療と仕事の両立支援に関する啓発を実施しました。

(指標進捗状況)

がん患者等の就労について理解を得られた事業者数 : 1,922社

	策定時 H28年度 末現在	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県 (累積)	482社	1,045社	1,332社	1,427社	1,523社	1,766社
目標値 (累積)		962社	1,202社	1,442社	1,682社	1,922社
達成率		108.6%	110.8%	98.9%	90.5%	91.9%

(今後の対応)

- ・ 就労しながらがん治療ができるよう、引き続き社会保険労務士による相談を行うとともに、労働局、関係機関等と連携し、治療と仕事の両立支援に向けた啓発に取り組みます。

(5) ライフステージに応じたがん対策

＜令和4年度の主な取組＞

- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院である三重大学医学部附属病院を中心に、「三重がん生殖医療ネットワーク」を構築し、治療に伴う生殖機能等への影響等、治療前に正確な情報提供が行われるよう、啓発を実施しました。
- ・ 将来子どもを産み育てることを望む小児、思春期・若年がん患者の経済的負担の軽減を図るため、がん治療開始前に精子、卵子、胚、卵巣組織を採取し凍結保存する妊孕性温存療法に係る費用への助成を令和元年度から実施しています。令和4年度からは、新たに妊孕性温存療法実施後の生殖補助医療に係る費用への助成を開始し、経済的支援のさらなる充実に取り組みました。

- ・ 高等学校段階の入院生徒等に教育を保障するため、三重大学医学部附属病院に入院している高校生に対して、ICT 機器を活用した遠隔授業を実施するとともに、学校・病院・教育委員会等と連携して教育機会を確保するため、大学病院院内教室に「高等部」を設置し、大学病院に入院する高校生が希望する場合は、かがやき特別支援学校へ編入学できるようにしました。

(今後の対応)

- ・ 引き続き、がん治療開始前の妊孕性温存療法及び温存後の生殖補助医療に要する費用の助成を行うことで、将来子どもを産み育てることを望む小児、思春期・若年がん患者の支援を行います。
- ・ 高等学校段階の入院生徒等の学びを継続できるよう、引き続き、ICT 機器を活用した遠隔授業を実施するなど、学習環境の充実に取り組みます。